

琉球大学学術リポジトリ

御挨拶

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学21世紀COEプログラム 公開日: 2007-10-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森田, 孟進, Morita, Moshin メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/2188

御挨拶

皆様、お早うございます。琉球大学 21 世紀 COE プログラム第 2 回国際シンポジウム「ネコ科研究最前線：その生態の多様性と保全」にご参加下さいました皆様に琉球大学を代表して感謝申し上げます、心から歓迎の意を表します。

琉球大学では琉球列島の特徴ある自然環境を生かした研究と教育を進めております。また、国際性を重視し、特にアジア・太平洋諸国の大学や研究機関との連携協力を目指しており、共同研究の推進や、留学生の受け入れを通して研究の発展や若手研究者の育成に努力しております。この様な沖縄の自然特性を対象とした国際シンポジウムが開催されますことは時宜を得たもので大変喜ばしいことです。

日本では文部科学省が 2002 年より 21 世紀 COE プログラムを進めております。これは各学問分野について拠点大学を選び、国際競争力のある世界的な研究教育拠点の形成を推進するプログラムです。本学が提案しました「サンゴ礁島嶼系の生物多様性の総合解析」というテーマは革新的学問分野のプログラムとして採択されました。本プログラムでは、琉球列島の島々と、それを取り巻くサンゴ礁を大きなシステムとして捉え、琉球列島における生物多様性の進化、維持機構を、分子生物学から生態学まで多様な学問分野の手法を駆使し、微生物から高等植物や脊椎動物まで、また陸上から海洋までを対象とし、多分野の研究者が連携しつつ研究教育にあたっております。現在海外からの招聘研究者を含む約 80 名の大学スタッフ、若手研究者、大学院生が活動しております。

本シンポジウムでは世界のネコ科動物の研究者のなかで、特に現在フィールドでアクティブに研究をされている方たちをアメリカ、イギリス、ポーランド、インドネシアなどからお招きし、話題提供をお願いいたしました。ご講演いただく内容は生態学から分子生物学、保全に関するものまで多岐に渡っており、COE プログラムの趣旨に完全に一致したものとなっておりますので、私たちも大いに刺激を受けることが出来るものと期待いたします。

このシンポジウムが皆様と私たちの 1 つの交流の場となり、今後の研究の発展と希少種の保全に貢献できれば、これ以上の喜びはありません。本日のシンポジウムにおいて活発な議論が展開され、実りある成果が得られますよう祈念申し上げます、歓迎の御挨拶といたします。

森田孟進（琉球大学学長）